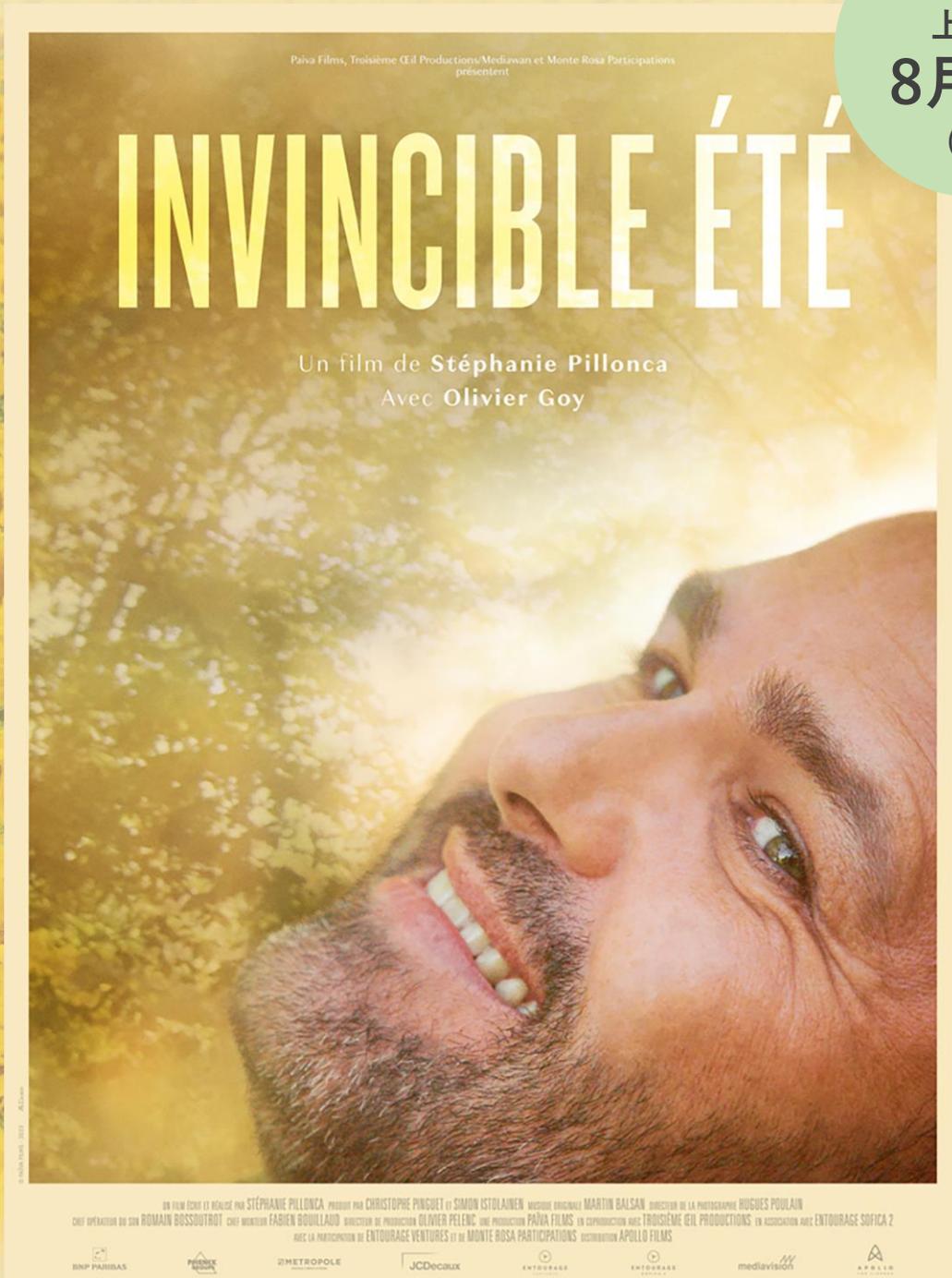


フランスALS患者オリヴィエ・ゴアさんドキュメンタリー映画

『不屈の夏』

ほっかいどう
上映会
8月3日
(土)



「余命はおそらく3年で、治療法はない。」
2020年12月のある朝、オリヴィエ・ゴアは筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。
しかし、オリヴィエはこのカウントダウンを無視することに決めた。
障がいを乗り越え、自分の人生に残された時間を全うし、
家族とともに笑顔で精一杯生きる新たな人生に乗り出す。

日時：8月3日(土) <午前> 開場 9:30 開演10:00 終演12:30 (各回180名)
<午後> 開場14:00 開演14:30 終演17:00

会場：ウステリアホール (札幌市中央区南1条西14丁目ウステリア南1条ビルB1)

料金：入場無料・全席指定 *入場には申し込みが必要です(裏面をご覧ください)

主催：『不屈の夏』ほっかいどう上映実行委員会/共催：一般財団法人すこやかさゆたかさの未来研究所(P-ALS)

後援：北海道、札幌市、北海道社会福祉協議会、北海道医師会、北海道看護協会、北海道難病連、北海道新聞、北海道文化放送、エフエム北海道、三角山放送局

協力：(株)メディカルシステムネットワーク、NPO法人iCareほっかいどう、障がい者就労支援事業所いるば28

お問合せ：『不屈の夏』ほっかいどう上映実行委員会事務局(甲谷) ✉ wellbeing64.hokkaido@gmail.com





このドキュメンタリーは、
すべての人に手を差し伸べるものだ。
些細なことでもただ
自分の人生を台無しにしていたか、
そして人生がどれほど美しいことか。



予告動画

Story ～ストーリー～



「余命はおそらく3年で、治療法はない。」

2020年12月のある朝、オリヴィエ・ゴアは筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。
しかし、彼はこのカウントダウンを無視することに決めた。
障がい乗り越え、自分の人生に残された時間を全うし、
家族とともに笑顔で精一杯生きる新たな人生に乗り出す。
このドキュメンタリーは、テクノロジーに情熱を注ぐ企業家として、
家族を守りたいと願う父として、そして不治の病に冒された患者として、
オリヴィエの新しい日常を追う。「不屈の夏」は明らかに人生と愛への賛歌である。
暗いものは何もない。美しさ、笑い、時に涙がある。

Message ～開催にかける思い～

● 畠中 一郎さん (一財)すこやかさゆたかかの未来研究所代表理事
映画「不屈の夏」の北海道上映会実現に深く感謝します。
3年前ALSと診断され絶望した私ですが、オリビエと出会い、
新たな目標に向け希望をもって邁進することで絶望を乗り越えよう
としている人がいることを知り、大きな勇気もらいました。映画を通し、
困難の中でも自分で希望を創り出せること、それこそが真の希望である
ことをオリビエは語ります。この映画が、多くの方々にとって生きがい
を取り戻すきっかけになってくれれば幸いです。



● 大平まゆみさん 元札幌コンサートマスター・バイオリニスト
それは、突然の出来事でした。喉に違和感を感じ、音程が取れなくて歌えなくなったのです。
13もの医療機関を巡り、ALSと診断されたのはその8カ月半後のことでした。
その時、これには何か意味があると直感的に感じました。5年経った今でもその意味を探し続けています。
この映画が皆様の人生のインスピレーションになりますように。いつもココロに音楽を。



Contents ～上映会内容～

(進行：高山秀毅)

- 畠中一郎さんによるトーク
 - 大平まゆみさんメッセージ
 - 『不屈の夏』上映 (上映時間 106分)
 - オリヴィエ・ゴアさんメッセージ・日本語
- * 映画は日本語字幕。ご家族でお楽しみいただける内容です。

Notice ～お申込み方法～

- 入場には、予め座席指定が必要です。右のサイトからオンラインチケットにてお申込みください (先着順)。
- 車椅子でご来場の方は、オンラインチケットを使わず、下記のアドレスにてお申込みください。
✉ wellbeing64.hokkaido@gmail.com



【ご寄付のお願い】

企業や個人の皆様の協賛金・ご寄付を受け付けております。上映会の開催経費 (上映権料、広報・会場等諸経費) に充てるほか、ALS支援機関等に寄付をいたします。ぜひご協力をお願いします。

振込先

北洋銀行道庁支店 普通 7203733
「不屈の夏ほっかいどう上映実行委員会」委員長小玉俊宏
恐縮ですが振込手数料はご負担をお願いします。
なお、北洋銀行アプリをご利用の場合は手数料はかかりません。